

平成 26 年度第 2 回油化学セミナー
(日本油化学会関東支部・日本ビタミン学会) 共催 合同市民公開セミナー
「健康増進-ビタミン、機能性脂質との上手なつきあい方-
食からの健康長寿を目指して」

日時：平成 26 年 10 月 25 日 (土) 13:00~17:00 (受付開始:12:00)

場所：アスティ 45 (ACU 中研修室 16131、多目的ホール 1614 16F)
〒060-0004 札幌市中央区北 4 西 5 アスティ 45 (JR 札幌駅より徒歩 5 分)
☎ 011-261-5311(代)

共催：(公社) 日本油化学会関東支部、(一財) 油脂工業会館、(一社) 日本ビタミン学会
後援：札幌市

講演会 (日本油化学会)

●東北大学大学院 教授、 宮澤陽夫

タイトル：ビタミンEと健康の維持・増進

抗不妊作用を示すことで発見されたビタミンEは、脂溶性であり植物油はそのよい供給源である。トコフェロールの抗酸化作用による老化予防がよく研究されてきているが、最近、トコトリエノールによる、腫瘍転移の予防や抗アレルギー、脂質代謝改善、皮膚保湿など新しい働きが注目されている。これらについて解説する。

●東北大学大学院 教授、 駒井三千夫

タイトル：血液凝固や骨形成以外にも健康の維持に重要なビタミンKのはたらき

ビタミンKは血液凝固や骨形成の完成に必須なビタミンである。ビタミンKにはこれら以外にも重要な健康機能があることを、各組織におけるメナキノン-4 (MK-4=ビタミンK2の一つ)の生体内変換生成の現象から推定されている。すなわち、肝臓における抗炎症機能や精巣におけるテストステロン合成促進機能等である。これらはGlaタンパク質に依存しない新しい機能であることがわかり、各組織において基本的に重要な細胞内機能を介して健康の維持に役立っていることを解説する。

●北海道大学大学院 教授、板橋 豊

タイトル：海藻の脂質とプロスタグランジン

海藻に含まれる脂質は量が少なく、カロリー源としての意味はあまりないが、高度不飽和脂肪酸を多く含むことから、近年その機能性に関心がもたれている。本講演では、アラキドン酸を代謝してプロスタグランジンやロイコトリエン等の強力な生理活性物質を産生するオゴノリ属海藻の魅力を伝えたい。

●ポスターセッション、情報交換会 (日本ビタミン学会)

ビタミン、バイオフィクターならびに脂質の機能とこれらを含む食品を通して健康増進につながる身近な情報をポスターの形式で提供し、質疑応答を通じて市民の方々に情報をお届けする。(ポスター発表希望者は下記申し込み方法記載の事務局にお申し込み下さい。)

参加費：無料

申込方法：①氏名、②勤務先(住所、電話およびFAX番号)、E-mailまたはFAXにて、下記(事務局)までお申し込み下さい。

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757
北海道医療大学薬学部環境衛生学講座 増田 園子
TEL: 0133-23-1314, FAX: 0133-23-1669,
E-mail: masudas@hoku-iryuu-u.ac.jp

募集人数：60名(定員になり次第締め切ります)

申込締切：10月15日(水)